

総合原価計算 第16問 問題

当社では、製品を連続生産しており、単純総合原価計算を行っている。次の資料にもとづいて、以下の問に答えなさい。なお、減損の計算方法は、度外視法を採用している。また、完成品単位原価の計算において端数が生じた場合は、小数点以下第2位で四捨五入しなさい。

(資料) ① 当月生産データ

月初仕掛品	500 kg (20%)
当月投入	<u>2,000</u>
合計	<u>2,500 kg</u>
月末仕掛品	600 kg (50%)
正常減損	100
完成品	<u>1,800</u>
合計	<u>2,500 kg</u>

(注1) 原料はすべて工程の始点で投入される。

(注2) ()内の数値は加工進捗度を示している。

(注3) 正常減損は工程の始点で発生している。

② 月初仕掛品原価、当月製造費用

	月初仕掛品原価	当月製造費用
原料費	180,480 円	798,000 円
加工費	<u>59,100</u>	<u>1,259,700</u>
合計	<u>239,580 円</u>	<u>2,057,700 円</u>

問1 平均法を用いて月末仕掛品原価と完成品総合原価を計算し、完成品単位原価を求めなさい。

問2 先入先出法を用いて月末仕掛品原価と完成品総合原価を計算し、完成品単位原価を求めなさい。

	問1	問2
月末仕掛品原価	円	円
完成品総合原価	円	円
完成品単位原価	円/kg	円/kg

総合原価計算 第16問 模範解答

	問 1	問 2
月末仕掛品原価	433,020 円	440,955 円
完成品総合原価	1,864,260 円	1,856,325 円
完成品単位原価	1,035.7 円/kg	1,031.3 円/kg

【解説】

生産データ				
500	100	1,800	1,800	加工換算量；
		100	0 (0)	月初仕掛品 500kg × 20% = 100kg
		600	300 (0.5)	月末仕掛品 600kg × 50% = 300kg
2,000	2,000			正常減損 100kg × 0% = 0kg

問 1

総合原価計算表					
(平均法)	数量	原料費	加工換算量	加工費	合 計
月初仕掛品	500	180,480	100	59,100	239,580
当月投入	2,000	798,000	2,000	1,259,700	2,057,700
合 計	2,500	978,480	2,100	1,318,800	2,297,280
正常減損	100	—	0	—	—
差 引	2,400	978,480	2,100	1,318,800	2,297,280
月末仕掛品	600	244,620	300	188,400	433,020
完 成 品	1,800	733,860	1,800	1,130,400	1,864,260

完成品単位原価；1,864,260円 ÷ 1,800kg = 1,035.7円/kg

問 2

総合原価計算表					
(先入先出法)	数量	原料費	加工換算量	加工費	合 計
当月投入	2,000	798,000	2,000	1,259,700	2,057,700
正常減損	100	—	0	—	—
差 引	1,900	798,000	2,000	1,259,700	2,057,700
月末仕掛品	600	252,000	300	188,955	440,955
差 引	1,300	546,000	1,700	1,070,745	1,616,745
月初仕掛品	500	180,480	100	59,100	239,580
完 成 品	1,800	726,480	1,800	1,129,845	1,856,325

完成品単位原価；1,856,325円 ÷ 1,800kg = 1,031.3円/kg